

上下水道市民アンケート（R3.12） 自由記載欄まとめ

(1) 上下水道施設の老朽化対策について

(更新の必要性について) … 72件

- 5年点検、10年点検等節目の点検は項目を増やして点検が最低限必要。上水下水が断水になったら生活の影響は計り知れない。施設は立派なものは要らない。
- 得られる収入の範囲内で修繕して、安全な水の提供、円滑な排水が望ましいです。よろしく願いいたします。
- 平常時ですら漏水が発生する状況では、地震での災害が発生した場合はより広範囲かつ深刻な事態が予想される。修繕、更新を急ぐべき。
- 関市に住んでいくうえで水道下水道料金が安い安全でおいしい水を望んでいる。そのうえで老朽化対策をしっかり進めていただきたいと思う。
- 関市は早くから下水道整備ができていたと聞いている。その分老朽化も早いと思うので早めの対策をお願いします。
- 市内で水道の工事を多くやっていると思うが、下水道や下水道の処理施設も古くなってきていると思う。施設が壊れる前に、早急な対応等を行ってほしい。他市では、下水道管の更生工事等も行っていると聞いている。
- 施設の老朽化対策を進めることは災害に強いことへつながっていくと思うので、老朽化対策は大切な事だと思います。

(更新順位について) … 19件

- 大規模施設の更新は優先順位と適正な計画立案を行ってほしい。
- インフラ整備はとっても大事な事です。しかし予算なくしてできる物でもありません。計画を持って進めて下さい。

(2) 上下水道事業の経営について

(財源に関すること) … 56件

- 市の単独予算に限界を感じる。国の補助が必要かと思う。国、他県他市との連携も大事なことだと思う。
- 老朽化については予測できたこと、公共性の高い案件であるため市から補助金を多くすべき。
- 収入を確保することはもちろん大切ですが、無駄なお金を使っていないか、毎年何となくで続けてきた出費に、優先順位をつけとりくんでいくことが必要だと強く感じています。

(料金に関すること) … 96件

- 県内の他市と比較して安くなっており同規模の市と同じ程度まで増額は仕方がないと思うが、あくまでも慎重に値上げしていくべきと思う。市からの助成金との併用で考えるべきだと思うが、助成金の割合を上げるべきだと思う。
- 市の上下水道事業を安定継続するために適切な料金体系(値上げ)を構築すべきである。
- 料金値上げ以外の方法での収入確保を望みます。方法はわかりませんが。
- 年金生活者にとって水道料金が上がるのも死活問題であり難しい。
- 水道下水道も料金は安いほうが良い。災害に強くするには老朽化対策は必要なこと、老朽化対策に予算が多く必要であることはわかりますしそのことが料金に影響することもわかりますができる限り影響が少ないことが望ましいと思う。
- 水道料金の見直しについて、急激な負担増とならないよう検討していただきたいと思います。
- いま一度、前回の料金改定の理由を理解して下さい。値上げは理由いかんで市民は理解してもらえると考えます。
- 安い料金にこしたことはない。けれど安心・安全・安定の3安は維持してほしい。4安になればということなし。ではありますが、市制全体の無駄・不要を無くす努力の上であれば将来的に料金改正もありとは思いますが、無駄・不要を無くす努力を明確に示さないと市民の理解は得られないと思います。

(3) 疑問・質問

(人件費について)

- 上水道と下水道と課を分ける必要はないと思う。人件費も削減してほしい。

【回答】人件費については、平成 28 年 10 月から下水道使用料の徴収業務を民間に委託しており、徴収業務に関係した人員を削減しております。また、平成 30 年 4 月 1 日より、水道部を廃止して、水道部に所属していた水道課と下水道課は基盤整備部（旧建設部）に所属する課に編成され、重複する管理に関係する人員を削減しております。

(前回料金改定について)

- 2012 年には「水道管の老朽化に伴う更新費用に充てるため料金改定をお願いします」とされたが、その時の増額分が不足しているのですか？

【回答】2012 年（平成 24 年）の料金改定後、有収水量の減少により料金収入の減少もあり、運営経費に必要な収入が不足する見通しがあります。また、今後増大する老朽化対策にも多額な費用が必要であり、今後の上下水道事業のあり方について現在関市上下水道事業経営審議会で審議して頂いているところです。

(支出も含めた見直しについて)

- 支出の項目の全面見直しを行う必要があるように思われる。思い切った支出削減を行ってはどうか。そのうえで更新を行ってほしい。

【回答】現在関市上下水道事業経営審議会で、収入のみでなく、支出も含めた今後の上下水道事業にあり方について審議して頂いているところです。

(必要な工事・修繕について)

- 今の収入で年間に使える工事費、修繕費はいくらあり、今の老朽化分 22%は何年でできるのか。また何年でやらねばならぬのか？

【回答】現在関市上下水道事業経営審議会で、今後の上下水道事業で必要となる工事・修繕とそのための財源を含めた今後の上下水道事業にあり方について審議して頂いているところです。

（4）その他の意見

（上下水道事業関係）

- 老朽化した水道管の割合が多いことや、不足額の多いことに驚いた。
- 修繕・更新について、決定までのロジックが一般市民にも分かりやすくすべき。またそれが本当に必要なものなのかを時として第三者の専門家に判断してもらうことも有効かと思う。
- 下水道の整備がされて長くなるが未だに使用されていない方がある事を真剣に取り組んでいただきたい。
- 設備の統廃合や改修など、人口減少を考えて長期的（30～50年）な立場から方針を決めていただきたい。

（市事業関係）

- 一部の人しか使用しない建物等にお金を使うより全ての市民が使うものにお金を使うとよい。

（その他）

- 水質水源の恒久的確保の為には地域の山林等の整備等を併せて重要視した行政を願いたい。
- 不足額が年々多くなっているとのことですが、なぜ人口が減少しているのか分析して対処してほしい。